



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地
TEL:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

平成27年度 進路状況一覧

- 国公立大学合格者延べ34名で、全員が国公立大学に進学
今年度も大阪大学1名をはじめ、人気の高い京阪神の国公立大学に多数合格
就職内定率は6年連続100%達成。公務員は4名合格

大学

全科目で新課程による入試が実施され、深い思考力や迅速な処理能力が要求されるものになってきた。特に国公立大学や人気の私立大学は学力勝負の様相が強い中で、国公立大学合格者は推薦入試での10名を含めて、延べ34名と健闘した。今年度は国公立大学のみ受験者が多かったが、その多くが朗報を得ることができた。
医療系・栄養系等の資格系学部、教員養成系学部の人気は相変わらず高いが、景気の好転で経済・経営学系にも人気が集まった。

短大・専門学校・訓練校等

看護学校や医療系の専門学校の希望者が多かったが、ほぼ全員が希望校に合格した。
一般の専門学校はほぼ確実に合格できるが、丁寧な学校選びが大切である。早期のAO入試利用は慎重を期すことが大切である。

就職

景気の回復基調がやや見える中で求人は昨年比5割増であったが、地元求人は限られており、縮小傾向が強くなっている。
京都府警察官に3名、航空自衛官一般曹候補生に1名が合格するなど公務員試験の難関を突破した。
就職希望者は、毎週金曜日の学習会や、何度も繰り返し面接練習に取り組み、みごと全員内定を勝ち取った。

平成27年度 卒業生進路先一覧(実数) H28.4.1 現在

Table with columns for university types (National, Private, etc.), gender, and counts. Total graduates: 216. Total employment: 104.

※就職進学については進学にはカウントしていない。「就進」欄は外数。
※「専門」の欄には、看護学校・職業訓練校等への進学者を含む。

平成27年度 卒業生校種別合格者数(延べ数)

Table showing acceptance numbers by university type: National/University, Private University, Specialized/Various Schools, and Vocational Training Schools.

私立短大

Table listing private short-term universities and their acceptance numbers.

合格体験記

京都教育大学

私の受験生としての生活は、「あの時こうしていれば…」という後悔が多かったな、と思います。周りの人たちの支えや自身の努力が実り、何とか志望校に推薦で合格することができましたが、本当に周りの人に支えられた結果の合格だったと思います。

私が京都教育大学を志望したのは3年生の1学期くらいだったと思います。この大学自体は1年生のときから志望校の1つとして名前が挙がっていた大学でしたが、そのときはどういう学部にするかがはっきり決まっていませんでした。そんな中、美術部の活動の一環で小学校に図工を教えに行ったりしたことや、やっぱり美術が好きだから美術に関わるのでできる大学に行きたい、という思いもあり京都教育大学を目指すことを決めました。志望校を決める上で大切なことは「早めに志望校を決めること」だと思います。焦って決める必要はないですが、志望校を早めに決めることでその大学のことを調べる時間を十分に持て、オープンキャンパスにたくさん参加して大学の雰囲気を感じることもできます。また「これはやるべき!」と思ったのは、オープンキャンパスのときに大学の先生や先輩に話を聞くことです。大学生活をイメージできるし、実際に大学に通う人からその大学の良いところなどを聞くことができるので、勉強するときに挫けそうになっても「その大学に行くんだ」とモチベーションを上げることもできるし、面接で話すときの話のタネになります。だから話す機会があれば積極的に話をすべきだと思います。

はじめに後悔した、と言いましたが私が1番後悔したことは受験勉強を少し遅れてスタートしてしまったことです。出遅れてしまうとそれが少しだけの差だったとしても、周りの人より努力が足りないのではないかと、という不安を受験が終わるまで抱えることになってしまいます。受験生なら誰でも考えてしまうことかもしれませんが、そういう思いをより一層強めてしまうので、自分を安心させるという意味でも「誰よりも早く勉強を始めてやるぞ」くらいの勢いで勉強をスタートさせてほしいです。私は3年の夏休みが明けて少ししてから推薦入試の小論文と面接の練習を始めましたが、周りの人はすでに始めていました。たった数日・数週間の差だったとしても、どれだけ頑張ってもその差をうめることはできないので、早め早めの行動を心がけるべきだと思います。

私は面接で少し失敗をしてしまいました。ざっくり言うと予想していなかった質問をされ、焦って話がそれてしまい注意された、ということです。正直落ちたかな、と思いましたが最後まで落ち着いてやりきろうと思い、話を修正して話しました。ここで焦って黙ってしまっていたら落ちていただろうなと思います。予想していなかった質問をされたとき、どれだけ自分の考えをまとめ、伝えられるかが重要だと改めて思います。だから面接が必要な人は多くの先生にお願いして多くの練習をし、臨機応変に答えられる力を身につけることが大切だと思います。

最後に、推薦入試は早く終わって楽だ、というイメージがあるかもしれませんが決してそうではありません。他の人より早く勉強を始めなければいけないし、受かる確率が低いのでセンターや一般の勉強は並行しなければいけないし、答えのある問題ではないからどこまで勉強すればいいかわからないし、つらい面も多いです。しかし友達や先生が協力してくれて何とか頑張れます。「受験は団体戦」というものを感じました。

皆さんには応援してくれる人がたくさんいるので、感謝を忘れずに頑張ってください。応援しています!

私が看護師を目指した理由は、中学生の頃、母が病気で入院したことがきっかけです。その時の看護師さんが、患者である母だけでなく、心配する私たち家族にも気にかけてくれました。そんな姿を見て、こんな風なたくさんの人に気が遣える、たくさんの人を支えられる人になりたいと思いました。高校に入って看護の体験や、福祉施設等での体験を通して人を支えることの難しさ、楽しさ等を知り、看護師になりたいという夢から、看護師になるという決意が変わりました。

そして、看護学校を探し始めると沢山の学校があり自分に合った学校を探すのは大変でしたが、悩んだ結果京都桂看護専門学校に行くことにしました。病院付属の学校で実習がしやすいところ、一学年四十人で一人一人が学びやすい環境が整っているところに惹かれて受験することを決めました。私は、英語が苦手だったので、英語を使わなくても受験できる自己推薦で受験することにしました。しかし、自己推薦には、小論文、個人面接、集団討論があり文章を書いたり、人前で話すことが苦手な私にとってはすごくつらいことでしたが、大人になればこの全てを必ずしなくてはならないので、その練習だと思って頑張ろうと決めました。

そのころ私はまだ部活をしていたのでがっかり受験勉強ができるわけではなかったのですが、とりえず小論文を早く始めて少しでも克服することにし、国語の先生に小論文を見てもらえるようお願いしに行きました。最初は、二日で一つの題を仕上げる計画で進めていました。部活を引退した後は、一日で一つの題を仕上げる計画でやっていたのですが、毎日している、やる気が出なくなったり、投げ出したくなったりしたときには、一日休んで次の日にまた頑張ろうという感覚で詰め込みすぎないようにしていました。試験日の一ヶ月前からは、先生に頼み集団討論と個人面接の練習をしました。先生に練習してもらう前に、自分自身で質問の答えを考えて練習に備えました。はじめの頃は緊張で自分の伝えたいことを全然伝えられないし、姿勢も丸くなってしまし、すごく不安になりました。しかし、何度も練習していく中で自分が本当に伝えたいところなどが見えてきて、最初の頃よりもできるようになりました。

私の経験を通して言えることは、いっぱい先生を頼っていいです。どの先生も、しっかりと頼めば話を聞いてくれるし私たちのためにできるだけのことをしてくれます。だから、その先生たちのためにも、一番は自分のためにも行きたい学校に行けるように、早くから受験勉強したり、ボランティア活動をしてたくさん経験を積んでおくといいと思います。そして、周りの先生、親にたくさん相談して自分に合った学校を見つけてその学校に行けるように頑張ってください。応援しています。

航空自衛官一般曹候補生

中学生の時に経ヶ岬分屯基地での基地祭に行き、カッコいい自衛官の姿を見たのがそもそものきっかけです。自衛隊と言えば筋肉がムキムキな人たちがばかりのイメージがなくて、こんな自分になれるわけないと思っていました。その上、今は学歴が重視される世の中なので、とりえずは高校を出て大学に進学しようと考えていました。

ですが、大学について考えている時でも、国にとって大切な任務を果たしておられる、基地祭で見た自衛官の姿が忘れられず、今この仕事を目指さないと後悔してしまうと気づき、目指そうと思いました。

自衛官になると決めてから進路の先生や担任の先生と面談したりして準備を進めていきました。本格的に動き出したのは三年生になってからです。就職説明会が度々あり、遠方から来てくださった講師の方から面接のアドバイスを聞いたり練習をしたりしました。もちろん自衛隊に入るには学科試験もあるので、そのために参考書を購入し塾で苦手の数学を中心に勉強して行きました。九月下旬に試験があるので勉強は夏休み頃から始めたのですが、峰高祭があったので峰高祭が終わってから本腰を入れました。峰高祭が終わってから真剣に勉強するとあらかじめ決めていたので、ケジメをつけることができとても集中して取り組みました。

試験科目には私の大の苦手とする数学があり、とても自力では解けなかった数学の先生に空いた時間で協力してもらいながら勉強して行きました。英語の先生は基礎から学べるワークを貸してくださり、それを使って文法から学びました。また、進路指導部の先生も自衛隊の人と連絡を取ってくださったりとても親身になってくださいました。

私が自衛隊の試験に受かることができたのは、決して私の意志が強いからだけではありません。一人の力では何もできませんでした。いろいろな先生方が協力してくださったおかげで頑張ることができたのです。自分の受験番号があるのを見たときは人生で一番興奮した瞬間でもありました。

自分の夢は自分の手でしか掴むことはできません。叶えたい夢があるのなら遠回りせず一直線に進んでいったほうがよいと思います。人生は一度きりです。やらない後悔よりやった後悔のほうが絶対いいです。私は、今までお世話になった方々を守ることで立派な自衛官になってみせます。

